



地域に根差した 持続可能な開発のための教育(ESD)

アジア太平洋交流プログラム（於：平塚市 / オンライン）

2021.8.10 - 11

持続可能な開発のための教育(ESD)の推進においては、地域に根差した実践の普及と深化の重要性が国際社会で指摘されてきました。2019年の国連総会で採択された『持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて(ESD for 2030)』では、「地域レベルでの活動の促進」は優先行動分野のひとつとして示されています。2030年を期限とした持続可能な開発目標(SDGs)の達成においても、ESDの果たす重要な役割が確認されています。以上の観点から、また昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックに瀕し、地域教育や地域づくりに携わる実践者や研修指導者の間では、政策立案や実践、研究に関する学び合いへの需要が高まっています。

こうした背景から、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)では、神奈川県平塚市、東海大学スチューデントアチーブメントセンター、ユネスコ北京事務所との共催により、「地域に根差した ESDアジア太平洋交流プログラム」を2021年8月10日～11日に開催しました。また本プログラムは、「国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成」およびユネスコ北京事務所の助成を受けて企画・運営されました。

交流プログラムの主な目的は、ユネスコのアジア太平洋地域教育局(バンコク事務所)の「地域に根差したESD推進プロジェクト」における経験を共有、議論し、参加国における今後のアクションを探ることです。本プロジェクトにも参加した神奈川県平塚市において開催し、日本を含む6カ国がオンラインで参加しました。

オープニングセッションでは、平塚市教育委員会教育長の吉野雅裕氏による開会の挨拶に続き、ユネスコ北京事務所所長のシャバズ・カーン(Shahbaz Khan)氏がビデオメッセージを寄せ、持続可能な開発の実現へ向けたESDのボトムアップ・アプローチの重要性を強調しました。2日間に渡るワークショップでは、中国、インド、日本、ラオス、モンゴルとフィリピンの事例が紹介され、ESDの実践者や専門家を含む約50名の参加者が各々の経験と意見を交わしました。

各国における学びのプロセスについても議論が交わされ、COVID-19パンデミックにおいても学びを継続することの大切さが確認されました。いかなる学びも地域の文脈において生じるため、世代間の対話や複数関係者の参加による伝統的知識の共有を通して、それぞれのニーズを理解することが重要となります。この点は、ユネスコバンコク事務所が開発したユネスコ作成の地域ESD推進枠組み

(Reflect-Share-Act)の実践においても強調されています。こうした視点から、日本国内で地域づくりに携わる若者が自らの経験を共有し、学びがいかに学校の内だけでなく外においても生まれるか、そして若者が地域に対して意見することで関わるだけでなく、世代を超えて自らの経験や知識を共有する主体であることを語りました。また、若者の参加を促す媒体としての組織や団体の重要性も挙げられました。



本プログラムは、国際的な枠組みに示されるような、地域におけるESD推進の機会となり、今後のESD協働へ向けた国際的ネットワーク構築の一歩となりました。



詳しい資料はこちらのQRコードよりご覧ください。

各国の事例紹介より



© Jiger Calo and Jedidah Boko



© Zhang Jing



© Soukanya Manivanh



© NCLE Mongolia



© Shrenik Sadalgi

Reflect

熟考

自らの経験や実践を持続可能性の観点から見直し分析するために、批判的な振り返りに取り組み、地域の文脈における持続可能な開発の在り方を思考します。

Share

共有

自らの熟考の内容や理解を地域と共有し、人々が「熟考—共有—行動」のプロセスに参加するよう導きます。

Act

行動

持続可能な開発についての理解を行動に移します。

参加者からのコメント ▶ 素晴らしい地域活動を行う若者、地域団体、自治体の実践の中に、いかにESDとReflect-Share-Actを見出し、評価することが出来るかという観点の重要性が認識されるよう、引き続き地域の教育従事者をエンパワーして欲しい。平塚の事例で紹介されていたように、退屈な講義ではなく、楽しい参加型の方法で、ESDをより明示的に取り入れることができるよう、教育従事者を支援していく必要がある。



公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

Eメール: education@accu.or.jp

電話: 03-5577-2852

ウェブサイト: <https://www.accu.or.jp/>